

消化器内視鏡検査時における抗血栓薬・GLP-1製剤の休薬目安　〇埼玉協同病院・ふれあい生協病院〇						
注) 処置当日は内服しないで来院			(あくまでも目安であり、合併疾患の病態等により対応は異なることがあります)			
分類	成分名	商品名	出血によるリスク分類			
			(1)出血高リスク		(2)生検・出血低リスク	(3)通常
抗血小板薬	アスピリン	バイアスピリン、アスピリン、タケルダ*、キャブピリン*	当日のみ休薬	・血栓塞栓症リスク高、胃瘻交換: 当日のみ休薬 ・血栓塞栓症リスク低、胃瘻造設: 5日前 から当日まで休薬 (緊急等には従来どおり 3日前 からの休薬も可)	当日のみ休薬	
	アスピリン・ダイアルミネート	バッサミン配合錠A81				
	チクロピジン	チクロピジン、パナルジン	5日前アスピリン置換+当日休薬	・血栓塞栓症リスク高:アスピリン置換 ・血栓塞栓症リスク低: 5日前 から当日まで休薬		
	クロピドグレル	クロピドグレル、プラビックス、コンブララン*				
	プラスグレル	エフィエント、 プラスグレル				
	チカグレロル	ブリリンタ	5日前から当日まで休薬			
	クロピドグレル+アスピリン合剤	コンビプラン*	5日前 から当日まで休薬+アスピリン置換			
	シロスタゾール	シロスタゾール、プレタール	当日のみ休薬(※1)			
	イコサペント酸エチル(EPA)	イコサペント酸エチル、エパデール				
	ω-3脂肪酸エチル	ロトリガ				
	ベラプロストナトリウム	ベラプロスト、ドルナー、プロサイリン				
	サルボグレラート	サルボグレラート、アンプラーグ				
抗凝固薬	ダビガトラン	プラザキサ	当日のみ休薬(※2)		当日のみ休薬	
	アピキサバン	エリキュース	当日のみ休薬(※2)			
	リバーロキサバン	イグザレルト				
	エドキサバン	リクシアナ				
	ワルファリンカリウム	ワーファリン	・当日のみ休薬 ・PT-INR3未満: 施行可	【DOACの適応がある場合(NVAF)※3】 ・5日前休薬+PT-INR<2.0(70歳未満)、<1.6(70歳以上) 確認後DOAC置換(当日のみ休薬) 【DOACの適応がない場合※3】※4 ・当日のみ休薬(※2) PT-INR3未満: 施行可		
その他の薬	リマプロストアルファデクス	リマプロストアルファデクス、オパルモン、プロレナール	当日のみ休薬(※1)		当日のみ休薬	
	ジピリダモール	ジピリダモール、ペルサンチン				
	ジラゼプ塩酸塩	コメリアンコーワ、ジラゼプ塩酸塩				
	トラピジル	ロコルナール、トラピジル				
	トリメタジジン	バスタレルF				
	イブジラスト	ケタス				
	イフェンプロジル	セロクラール、イフェンプロジル				
	ニセルゴリン	サアミオン、ニセルゴリン				
分類	一般名	商品名	最終投与から処置・手術日までの休薬期間			
GLP-1製剤	セマグルチド週1回	オゼンピック、ウゴービ、	7日以上			
	チルゼパチド週1回	マンジャロ、ゼップバウンド				
	デュラグルチド週1回	トルリシティ				
	リラグルチド毎日	ビクトーザ	当日朝休薬			
経口セマグルチド毎日	リベルサス					

*合剤 (処置当日を0日前として休薬期間を示しています)

(※) 出血高リスク群をポリペクトミーとそれ以外に分割し、ポリペクトミー時の休薬を別途定めた(2024年11月当院規定)

(※1) 「抗血栓薬服用者に対する消化器内視鏡ガイドライン」2012年では1日前休薬を推奨しているが、2019.7より当院の規定は当日のみ休薬に変更した

(※2) 「抗血栓薬服用者に対する消化器内視鏡診療ガイドライン(直接経口抗凝固薬(DOAC)を含めた抗凝固薬に関する2017年追補版)」で当日のみ休薬に改訂あり

(※3) DOACの適応; 非弁膜症性心房細動(NVAF)患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制
静脈血栓塞栓症(深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症)の治療及び再発抑制(ダビガトラン除く)
弁膜症性心房細動(リウマチ性僧帽弁疾患、人工弁置換(機械弁、生体弁ともに))の適応はワーファリンのみ

(※4) ヘパリン置換はワーファリン継続に比べて出血リスクを増加させるため、原則としてヘパリン置換は行わない

抗血栓薬の休薬目安：多剤併用の場合

多剤併用の場合は、処方医に事前に相談することを優先する。
※出血高危険度の内視鏡：休薬が可能となるまでは延期が好ましい。投薬の変更は内視鏡に伴う一時的なものにとどめる。

	アスピリン	P2Y12阻害薬* (※ブリリントはガイドライン記載ない為参考)	その他の薬	ワルファリン	DOAC†	組み合わせ
2剤併用	当日のみ休薬	5日前から 当日まで休薬				アスピリン P2Y12阻害薬*
	当日のみ休薬		当日のみ休薬			アスピリン その他の薬
	当日のみ休薬			当日休薬(治療域) or NVAFIはDOAC考慮		アスピリン ワルファリン
	当日のみ休薬				当日のみ休薬	アスピリン DOAC†
		アスピリン置換	当日のみ休薬			P2Y12阻害薬* その他の薬
		アスピリン置換		当日休薬(治療域) or NVAFIはDOAC考慮		P2Y12阻害薬* ワルファリン
		アスピリン置換			当日のみ休薬	P2Y12阻害薬* DOAC†
			当日のみ休薬	当日休薬(治療域) or NVAFIはDOAC考慮		その他の薬 ワルファリン
			当日のみ休薬		当日のみ休薬	その他の薬 DOAC†
3剤併用	当日のみ休薬	5日前から 当日まで休薬		当日休薬(治療域) or NVAFIはDOAC考慮		アスピリン P2Y12阻害薬* ワルファリン
	当日のみ休薬	5日前から 当日まで休薬			当日のみ休薬	アスピリン P2Y12阻害薬* DOAC†
	当日のみ休薬		当日のみ休薬	当日休薬(治療域) or NVAFIはDOAC考慮		アスピリン その他の薬 ワルファリン
	当日のみ休薬		当日のみ休薬		当日のみ休薬	アスピリン その他の薬 DOAC†
		アスピリン置換	当日のみ休薬	当日休薬(治療域) or NVAFIはDOAC考慮		P2Y12阻害薬* その他の薬 ワルファリン
		アスピリン置換	当日のみ休薬		当日のみ休薬	P2Y12阻害薬* その他の薬 DOAC†

【表の見方】縦列で2剤併用か3剤併用か確認。横列で併用する薬剤の組み合わせを確認。(一番右の列に組み合わせを追記)

*P2Y12阻害薬：クロピドグレル、チクロピジン、エフィエント、ブリリント
†DOAC：プラザキサ、エリキュース、イグザレルト、リクシアナ

出血リスクによる分類	
(1) 出血高リスク	
ポリペクトミー(ポリープ切除術)	超音波内視鏡下穿刺吸引術
内視鏡的粘膜切除術	経皮内視鏡的胃瘻造設術
内視鏡的粘膜下層剥離術	内視鏡的食道・胃静脈瘤治療
内視鏡的十二指腸乳頭切除術	内視鏡的消化管拡張術
その他	内視鏡的粘膜焼灼術
(2) 出血低リスク・生検<内視鏡的粘膜生検(超音波内視鏡下穿刺吸引術を除く)>	
バルーン内視鏡	マーキング(クリップ、高周波、点墨など)
消化管、膵管、胆管ステント留置法(事前の切開手技を伴わない)	
内視鏡的乳頭バルーン拡張術	
(3) 通常 <通常消化器内視鏡>	
上部消化管内視鏡(経鼻内視鏡を含む)	カプセル内視鏡
下部消化管内視鏡	内視鏡的逆行性膵胆管造影
超音波内視鏡	

血栓塞栓症リスクによる分類	
<血栓塞栓症リスク;高>	
①PCI後、薬剤溶出ステント留置	②通常ステント留置後1ヶ月以内
③生体弁置換術後3ヶ月以内	
④弁膜症を合併する心房細動	⑤僧帽弁機械弁置換後
⑥機械弁置換後の血栓症既往のある症例	
⑦人工弁設置など	
<血栓塞栓症リスク;低>	
高危険度群に当てはまらない患者	

これらは院内で作成した推奨基準です。

<参考文献>	
「抗血栓薬服用者に対する消化器内視鏡診療ガイドライン(抗凝固薬に関する2017年追補版)」日本消化器内視鏡学会	
「各抗凝固薬添付文書」	

2019年6月 改定 院内薬事委員会
2019年12月 承認 消化器内科チーム
2019年12月 承認 医局会議
2023年7月 改定 商品名統一、多剤併用休薬目安表にP2Y12阻害薬+DOACの組み合わせを追記
2024年11月 改定 出血高リスク群をポリペクトミーとそれ以外に分割
2026年8月 改訂 休薬表現変更、一部休薬期間に幅のあった薬を固定、抗血栓薬の組み合わせと追記